生ごみを減らそう

ポイント 3

ひとしぼり

・水切りネットなどはごみ出し前にひとしぼり

手を汚さないで水を切るコツ

●ペットボトルを切ったものや、不要になったCDなど、身近なものを使って簡単に水切りができます。

●ペットボトルは２リットル等大きめのものを使い、切り口はテープ等で保護します。

生ごみをたい肥にしよう ～ダンボールコンポストの紹介～

ダンボールコンポストは、ダンボール箱を利用して生ごみをたい肥化する生ごみ処理機のことで、箱の中に基材（町田市では竹チップ・竹炭を使用）を入れ、酸素を好む好気性の微生物の力によって生ごみを分解・処理してたい肥を作ります。

メリット
・手軽に始められる
・コンパクト
・電気代がかからない

デメリット
・かき混ぜる等の手間
・たい肥化まで時間がかかる
・箱の耐久性が低い

ダンボールコンポスト講習会

ダンボールコンポストの仕組みや使い方などを楽しく学んでいただく講習会です。参加者にはダンボールコンポストセットをプレゼント！開催日等は広報やホームページで告知しています。

生ごみを減らそう

家庭用生ごみ処理機等の購入費補助制度

燃やせるごみの中で『生ごみ』の割合が約３分の１と一番多いです。その『生ごみ』を減らすために『生ごみ処理機等』を購入した方に購入金額の一部を補助します。

購入金額の２分の１（上限２万円）を補助！

申請には『①申請書』『②請求書』『③領収書の写し』『④保証書の写し』が必要です。

パンフレットと申請書類は各市民センターや駅前連絡所、市役所７階、町田市バイオエネルギーセンター3階環境政策課窓口に設置しています。

書類はホームページからもダウンロードできます。

申請は、郵送または持参で環境政策課 3R 推進係に提出してください。

補助対象の生ごみ処理機・たい肥化容器

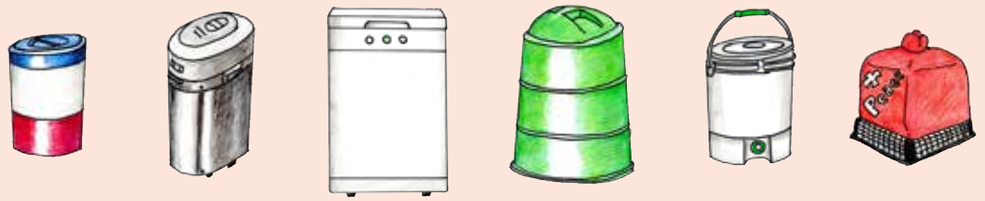
販売店・メーカーは問いませんが、新品で、生ごみ処理を目的としている商品を直接民間業者から購入したものに限ります。

① 生ごみ処理機

かくはん、加温、乾燥、微生物による分解等を行うことにより、生ごみを処理する機器で、手動又は電動によるもの。

（粉砕のみを行うもの及びディスポーザー方式のものは除きます。）

② たい肥化容器

微生物等の働きを利用し、生ごみを自然発酵及び分解することにより、生ごみを処理する容器。

※ダンボールコンポストは、セット販売のものに限ります。